

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	17	事業名	防災事業	担当部課	くらし文化部安心安全課		
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無				予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市地域防災計画、長久手市防災士資格取得費助成事業実施要綱				2-1-14 防災費
	事業開始の背景、経緯等	災害時における市民の安全を守るため、防災力の向上を図る。					
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 防災関係施設・機材の整備点検を始め、市民の防災力向上に向けて、防災士の育成や災害情報伝達網を拡充していく。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 安心メール登録者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多くの市民が保有する携帯端末等に、安心メール(電子メール)を届ける。

項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	
			事業費(A)	千円	予算	29,917	95,384	26,422
			決算	40,226	94,820	26,618	37,514	
人件費(B)	千円	決算	9,585	7,856	6,164	7,608		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	49,811	102,676	32,782	45,122		
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		7,466	7,995	10,644	11,575	12,700	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		—	8	8	7		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
			安心メール登録者数	人	目標	—	—
			実績	7,466	7,995	10,644	11,575
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
登録者数の拡大は、情報伝達者数の拡大につながるため。			前年度比10%増				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 積極的な登録者勧誘を実施しており、登録者の拡大に繋がっている。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) R2年度はコロナ禍によりイベント等での登録者勧誘が困難だったが、広報掲載、市ホームページ掲載、チラシの配布等により登録を呼びかけた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 職員と直接接点のない市民へも登録拡大を進める。

事業を構成する事務事業①	災害用資機材購入事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
(1)	アルファ米の備蓄数	食	見込	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
			実績	64,900				
(2)	液体ミルクの備蓄数	ml	見込	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			実績	51,840				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ・避難者の主食となるアルファ米の備蓄について目標である60,000食以上を備蓄できた。 ・災害時、粉ミルクと違い水が不要な液体ミルクの備蓄について、目標である50,000ml以上を備蓄できた。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	防災士育成促進事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
(1)	【アクションプラン】 防災士資格取得の助成件数【単年】	件	見込	6	9	12	15	15
			実績	3				
(2)	防災士が講師を務めた 防災講習会等の実施回数	回	見込	12	12	12	12	12
			実績	3				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 防災士資格取得の助成について、市広報や市ホームページ、チラシ等による周知を行い、R2年度は3件の助成件数となった。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業③	香流川河川カメラシステム事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
(1)	【アクションプラン】 河川カメラ設置数【累計】	基	見込	1	2	2	2	2
			実績	1				
(2)	システム障害等により 河川カメラが機能しない状況	回	見込	0	0	0	0	0
			実績	0				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> この事業はR2年度から開始した事業であり、R2年度は下川原橋付近に河川カメラを1基設置した。これによりケーブルテレビやスマホのアプリを通じて、付近の河川の様子を確認できるようになった。							今後の方向性	拡充

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 安心メールの存在を知らない市民への普及を推進する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 中長期的には20,000人の登録を目指す。

内部意見	総計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなでつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・【事業内容】、【事業対象】及び【事業意図】の繋がりをより明確化し、【事業開始の背景、経緯等】にあるように防災力の向上に寄与するよう取り組んでください。 ・市民との連携協働の可能性が「有」のため、事務事業での市民参加について模索してください。
	内部意見への回答	